



みやじ ようこ 議員
宮地 葉子 議員

当初予算

大西町政の目指したものは 緊縮財政だが次世代に投資

問 今議会の予算は大西町政再スタートの具体化になる。緊縮財政から始まるとのことだったが、目指した方向は。

答 大西町長

令和4年度末の基金残高が60億円。令和7年度末は推計で44億円になり、3年間で16億円、26%の減少になる。このままの予算規模だと4、5年で予算が組めなくなり、必要な住民サービスすら削減せざるを得なくなるので、手前から準備をしていくのが行政改革であって、人件費も含めて聖域を設けずに削減させて頂いた。

問

所信表明で「若者が定着し安心して子育てが出来る環境と支援の拡充、教育の充実を図る」と言ったが、予算にどう生かされているか。

答 大西町長

次世代の活力ある経済では、最も重要なものは起業で、手厚くサポートをしていきたい。子育て支援策は学校給食の無償化で家計支援をし、その分家庭で教育への投資を行って頂きたい。

前立腺ガン

検査への補助を求める

来年度の協議に提案したい

問

前立腺ガンは目立つた自覚症状がないので早期発見が難しい。検査は簡単で採血で出来る上に発見がしやすく、初期では9割の人が完治できる。検査を促すことにもなるので、補助を求める。

答

野村健康福祉課長
令和7年度4月から事業計画協議が始まるので、担当課として提案をしていきながら、他の各種健診と共に検討させて頂きたい。

避難所対策

役員に女性の登用は不可欠

運営マニュアル等

検証していく

問

最近災害関連死が問題となっているが、避難所は災害後の命をつなぐ重要な場所だ。避難所の意思決定機関には多様な意見が反映されるためにも女性の登用が必要だ。性別などで役割を固定化せず、民主的な運営を

答

村越情報防災課長
するためにも避難所運営マニュアルも含め、避難所での人権が保障される研修等を求めるがどうか。防災関連のみならず各種分野で、女性の視点、さらには多様な性の視点



一次避難所の大方あかつき館横の避難タワー

は必要不可欠だと考える。避難所は避難して来た方々による運営になるので、令和7年度は避難所運営マニュアルを使い住民の皆さんで避難所の開設や運営ができるか検証していく。また、備蓄品等も活用し、運営マニュアルの実効性を検証し、更新を図っていく。